

## 寒川町近代文化財調査要項（案）

目 的 該当文化財の文化財的価値を確認するため。  
該当文化財の文化財的価値はどの程度なのか、他自治体の同様な近代文化財は県国市町村指定や登録文化財になっているかを確認し、今後の保存活用方法の参考とする。

期 間 令和7年12月1日から令和8年3月31日まで

対 象 一之宮公園（一之宮緑道及び八角広場） 一之宮3丁目2172-1の一部  
西寒川支線跡

### 調査内容

1. 現地にて西寒川支線跡の保存状態等の現状を確認し、今後の保存や整備に関する指導助言をお願いします。
2. 現状を踏まえ、西寒川支線跡が指定や登録文化財としての価値について、報告書作成をお願いします。

## 調査依頼者

小野田滋

公益財団法人鉄道総合技術研究所アドバイザー

1957年愛知県生まれ。日本大学文理学部応用地学科を卒業後、1979年に日本国有鉄道入社。鉄道技術研究所、JR西日本、海外鉄道技術協力協会などを経て現在に至る。博士(工学、東京大学)。専門分野は土木史、鉄道史。著書に『高架鉄道と東京駅』(交通新聞社、2012年)、『東京鉄道遺産』(講談社、2013年)、『関西鉄道遺産』(講談社、2014年)、『橋とトンネル・鉄道探究読本』(河出書房新社・2022年)など。文化庁文化審議会第二専門調査会委員。

(早稲田大学エクステンションセンターHPより)

## 西寒川支線跡沿革

物件名：西寒川支線跡

所 在：一之宮公園（一之宮緑道及び八角広場） 一之宮 3 丁目 2172-1 の一部

所有者：寒川町

管 理：都市計画課都市みどり担当

沿 革：大正 4 年（1915）茅ヶ崎町長他から「相模鉄道株式会社発起趣意書」「起業目論見書」が作成され、鉄道院に対し鉄道営業の免許申請がされる。

大正 10 年（1921）9 月 28 日 相模鉄道株式会社が茅ヶ崎駅-寒川駅間及び寒川駅-川寒川駅間を開通

大正 11 年（1922）5 月 10 日 寒川駅-四之宮駅間が砂利貨物として開通（後の西寒川支線）

昭和 19 年（1944）国有化 四之宮口駅から西寒川駅に改称 路線も見直しがされ、寒川駅-西寒川駅間の形となる

昭和 24 年（1949）国鉄が発足し、「相模線」となる

昭和 59 年（1984）3 月 31 日廃線

昭和 62 年（1987）支線跡地の一部である大門踏切付近「ゲート広場」から「八角広場」までの 900m 緑道が整備される。途中の一之宮公園内に約 200m レールが保存されている。

平成元年（1989）3 月 西寒川駅跡地に一之宮緑道終点として八角広場が整備される。約 20m レールが保存されている。

平成 30 年（2018）「西寒川支線 廃線跡」として NPO 法人湘南遺産プロジェクトによって「湘南遺産」に選定される。

その他：文化財的観点からの調査事例は無い。

鉄道・廃線史的観点からの調査は民間研究者によって実施されホームページ等に公開されている。

町観光協会関連のホームページにも詳しく記載がある。それによると、残存レールに「皇紀」の年号があるなど注目すべき点が記載されている。